

名鉄八幡駅周辺地区のまちづくり



令和2年12月22日

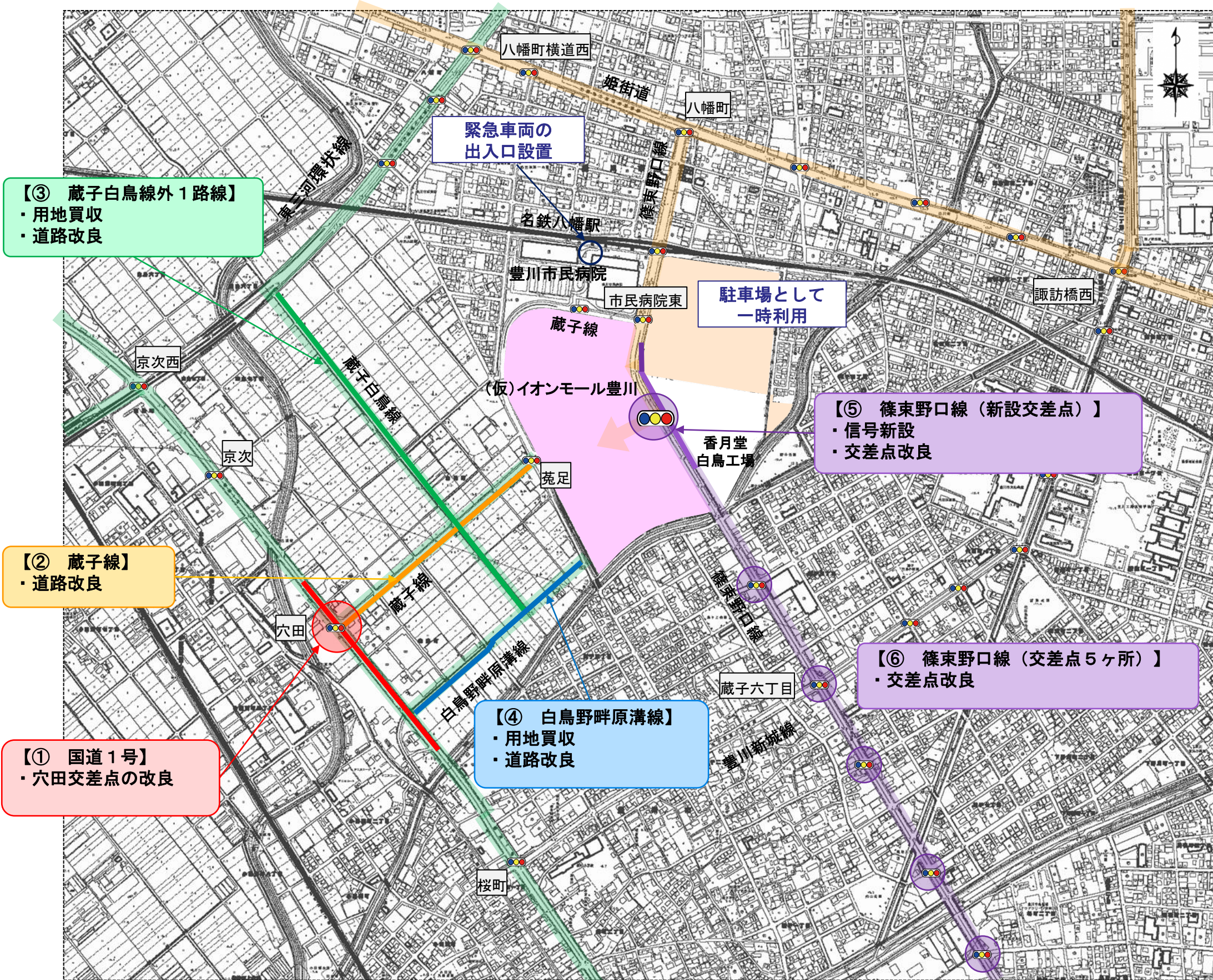
豊川市都市整備部

八幡駅周辺地区まちづくり推進室

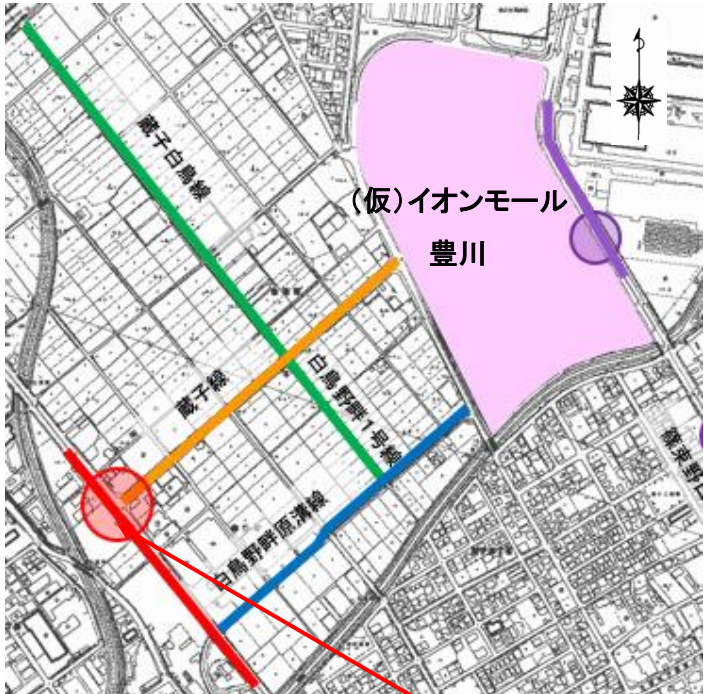
広域誘導の考え方



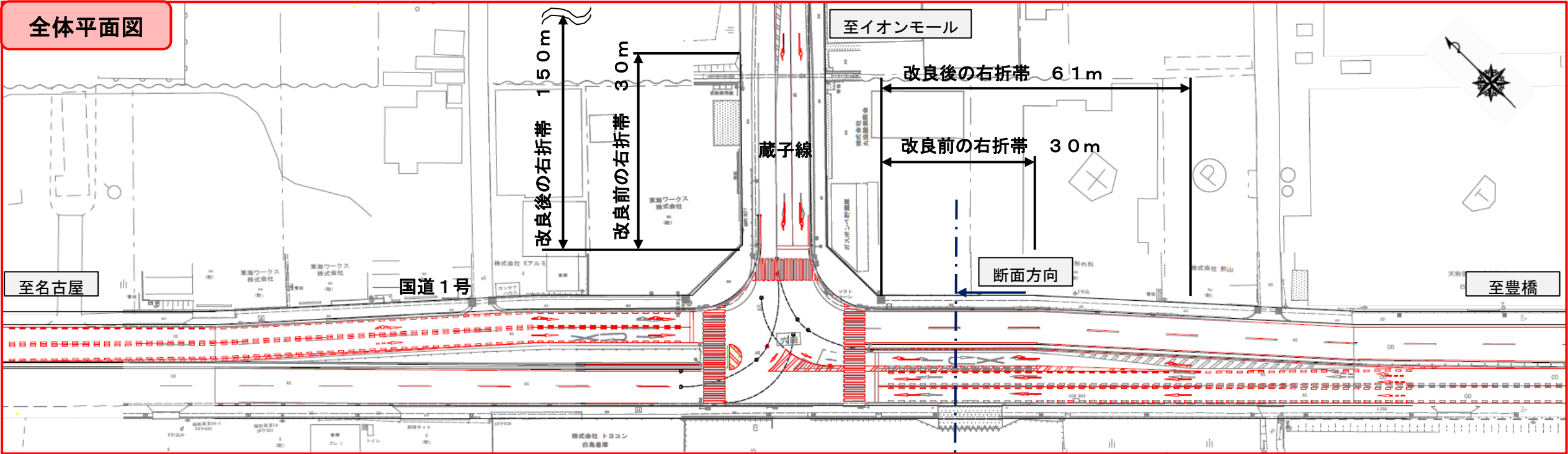
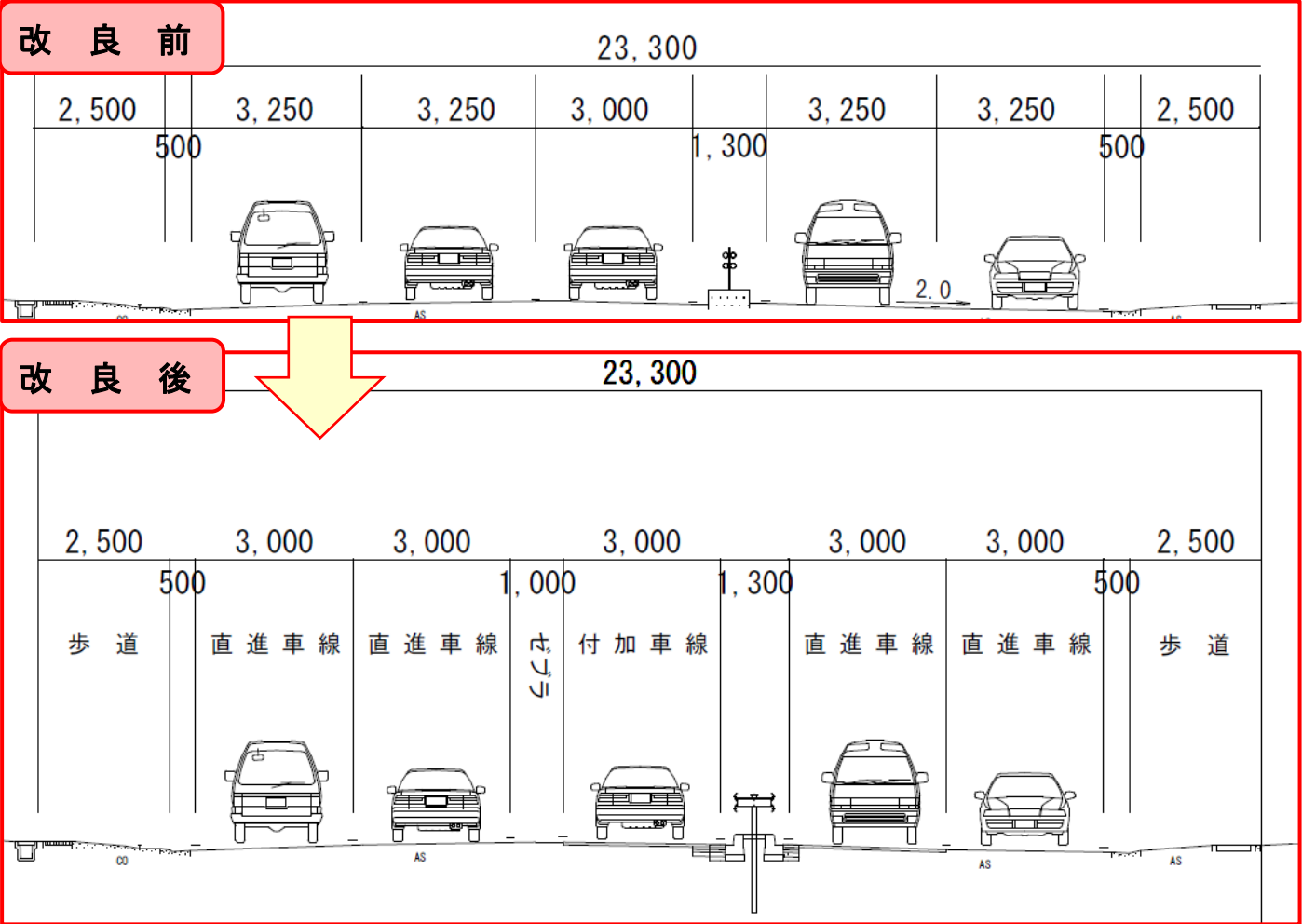
主な交通渋滞緩和施策



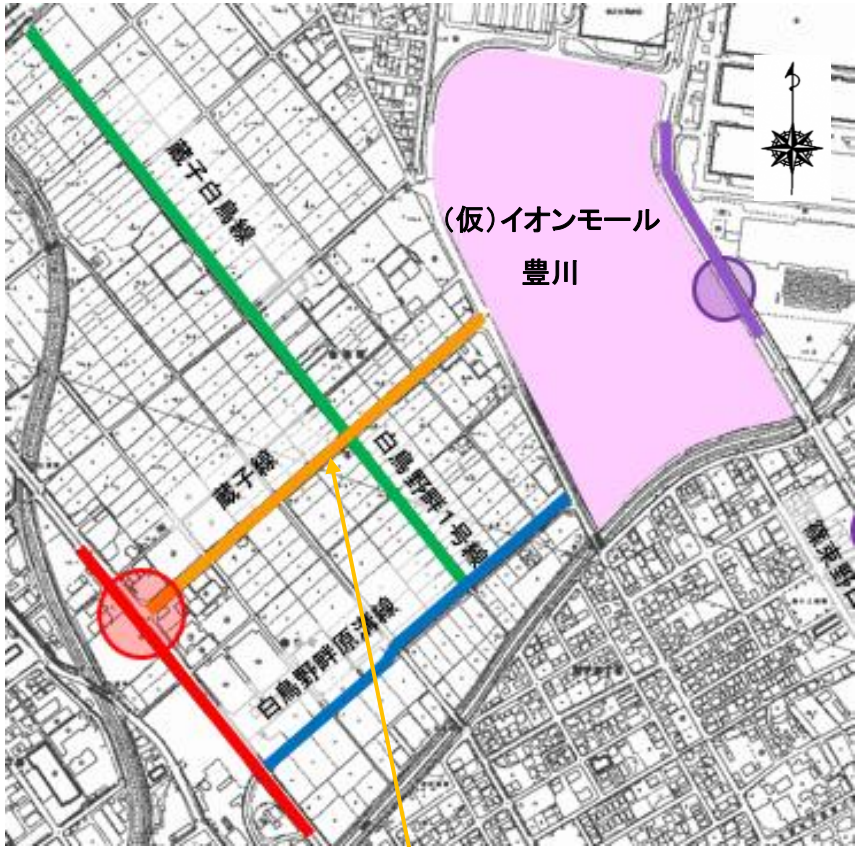
道路整備詳細(① 国道1号・穴田交差点)



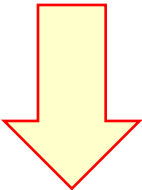
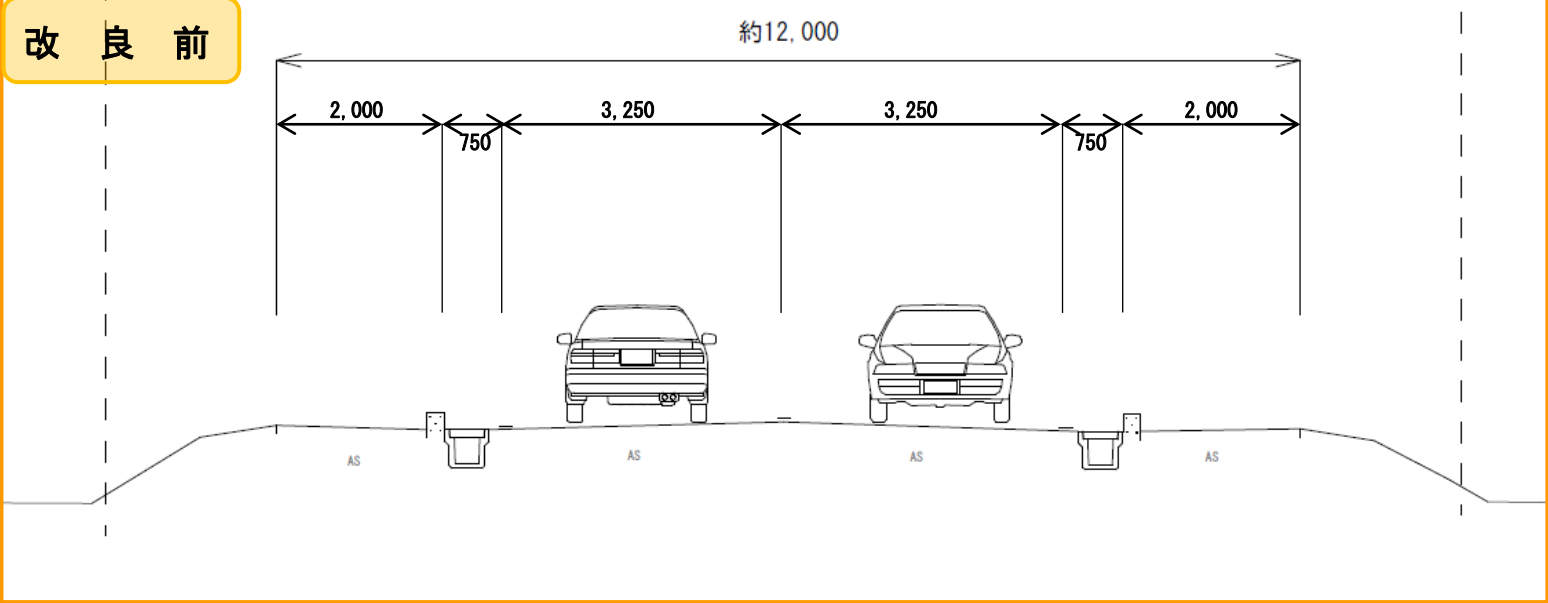
- ① 国道1号・穴田交差点
- 《工事概要》
- ・ 右折帯を30mから61mへ延長
 - ・ 蔵子線との接続部分は右折帯を30mから150mに延長



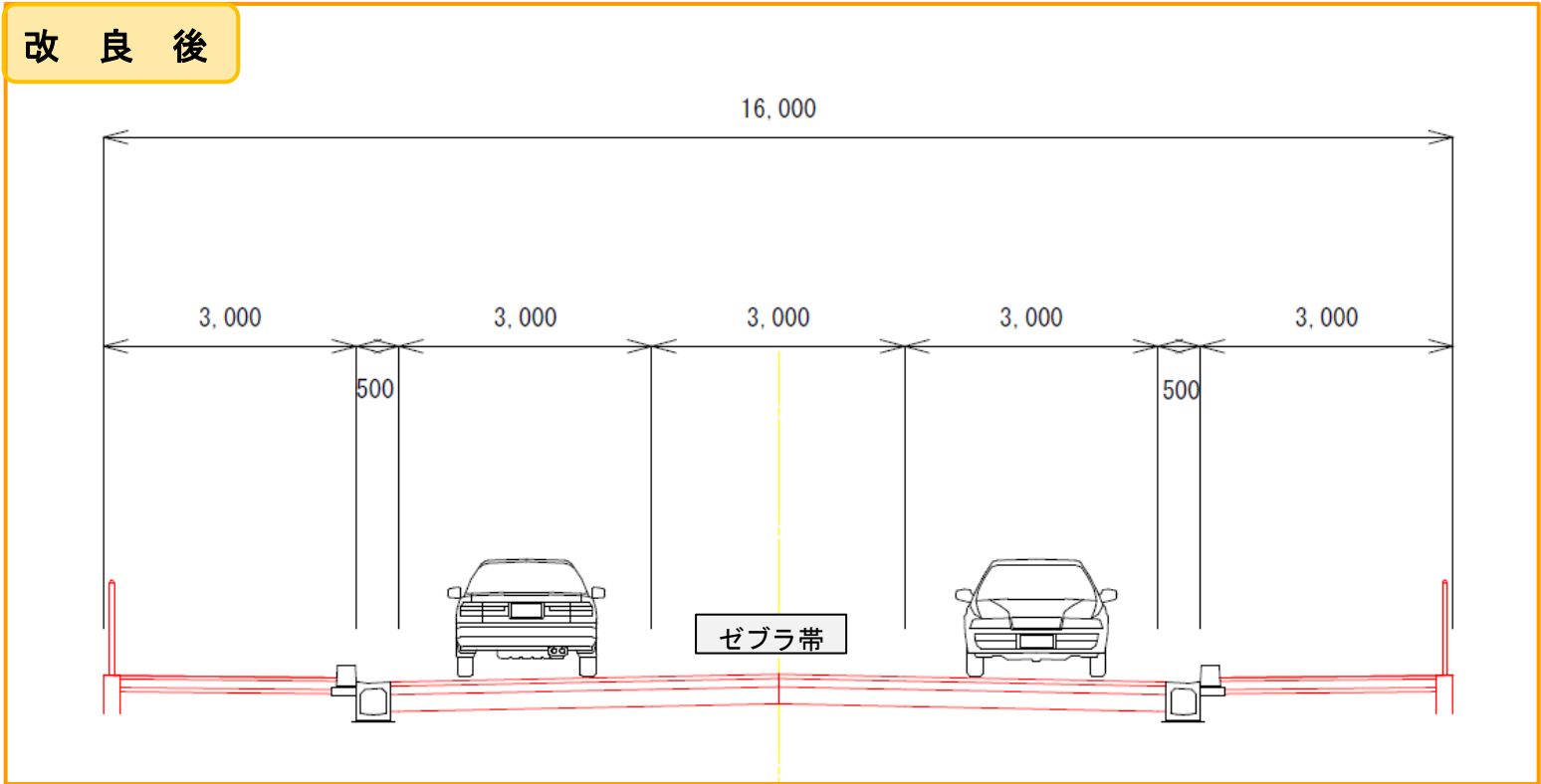
道路整備詳細(② 蔵子線・一般部)



改 良 前

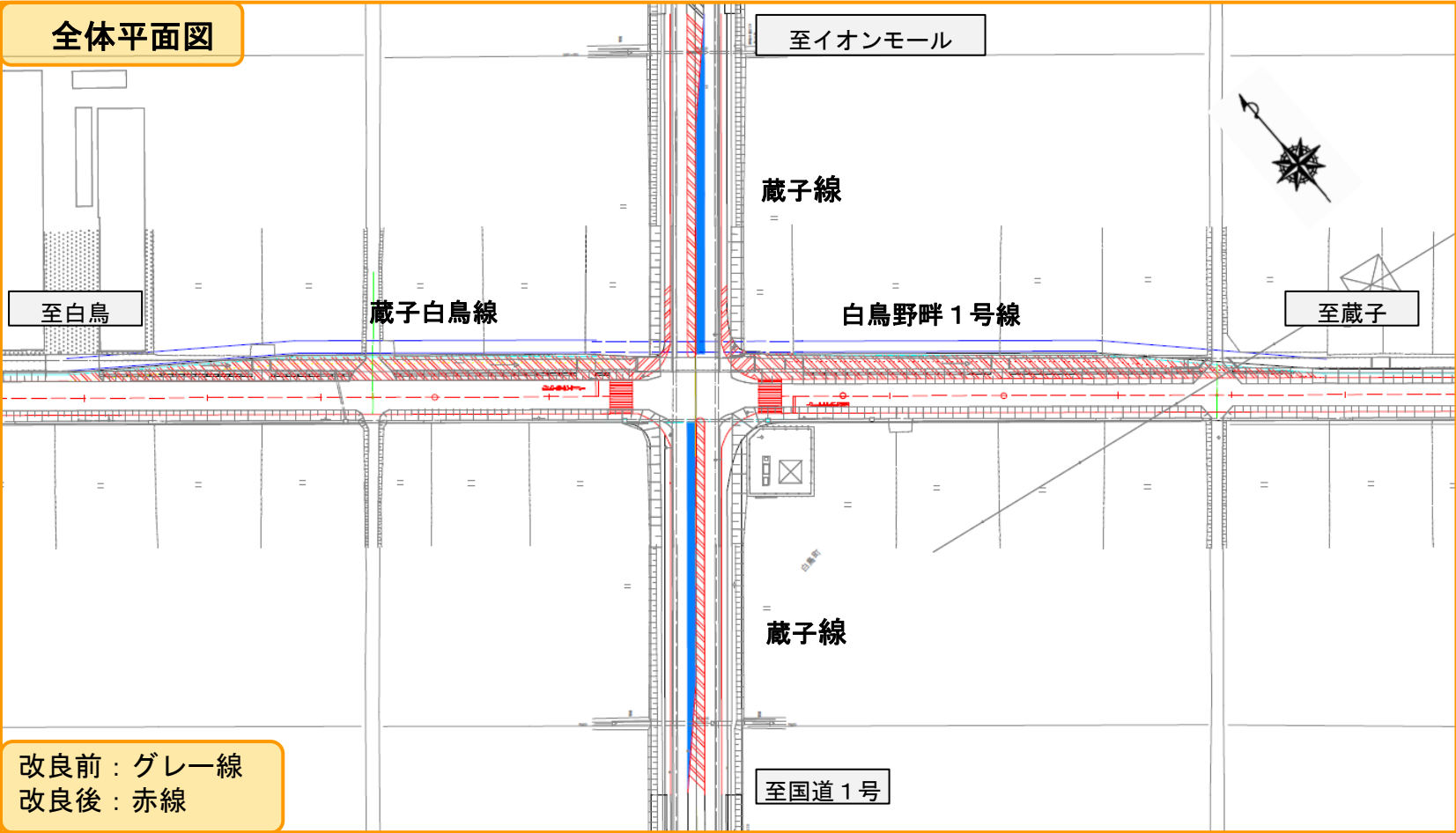
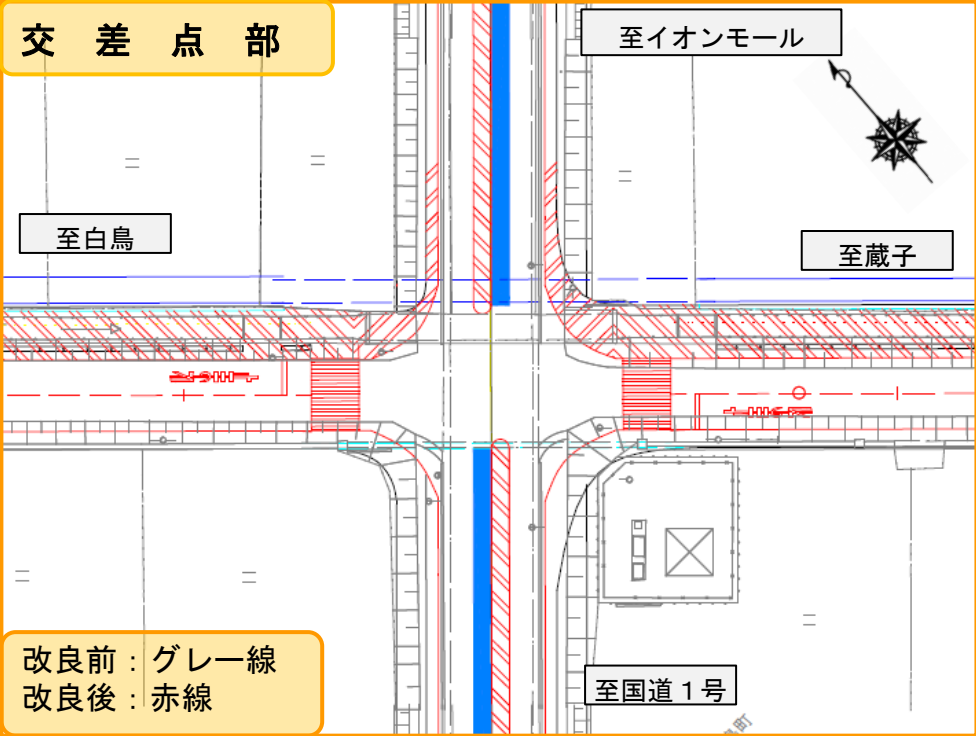
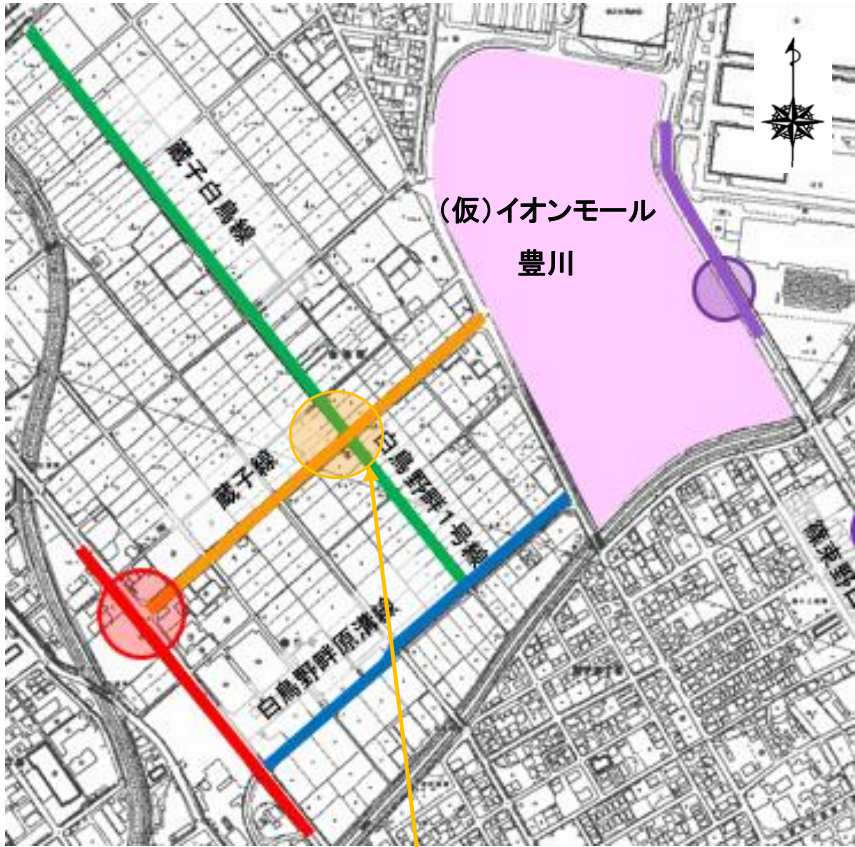


改 良 後



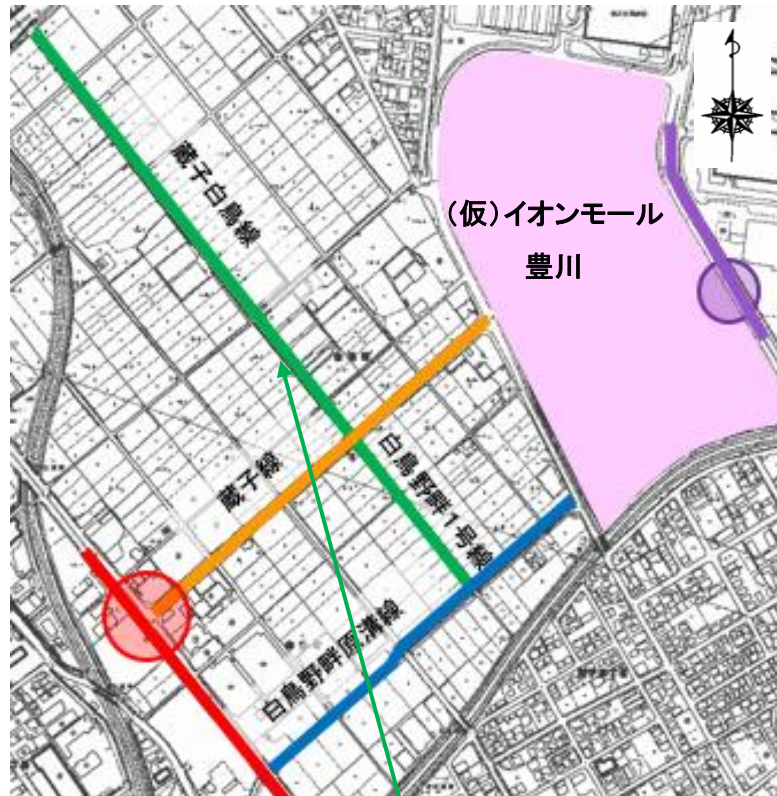
- ② 蔵子線・一般部
《工事概要》
- ・有効幅員を12mから16mに改良
 - ・緊急車両の通過を円滑化するため、中央部にゼブラ帯3mを確保

道路整備詳細(② 蔵子線、蔵子白鳥線、白鳥野畔1号線・交差点部)



- ② 蔵子線、蔵子白鳥線、白鳥野畔1号線
交差点部
《工事概要》
(蔵子線)
・蔵子白鳥線との交差点は1.5車線(幅員4.5m)とし、右折車両の滞留に対応(青着色部)
・歩道は全線3mを確保
(蔵子白鳥線、白鳥野畔1号線)
・将来的な整備に備え右折帯相当の用地を確保

道路整備詳細(③ 蔵子白鳥線・白鳥野畔1号線)

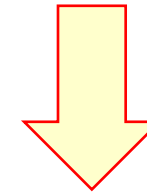
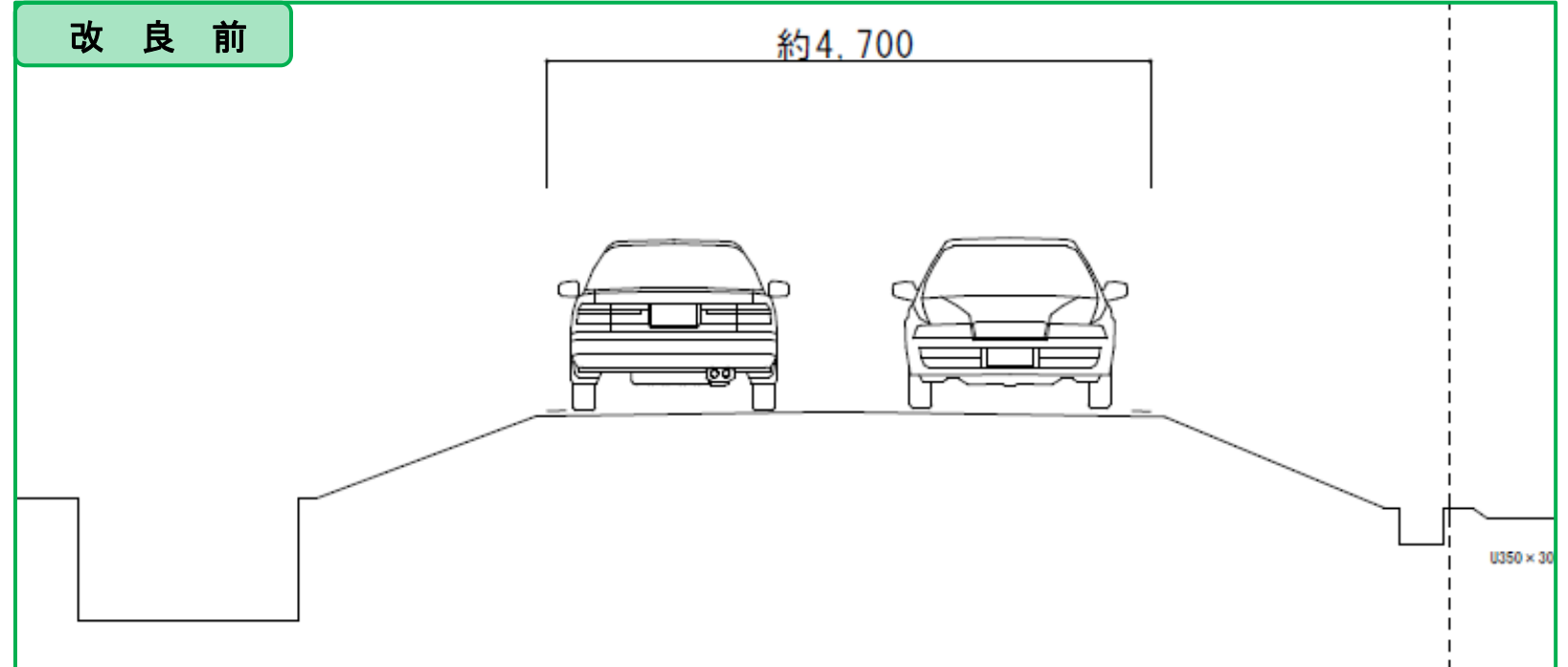


③ 蔵子白鳥線

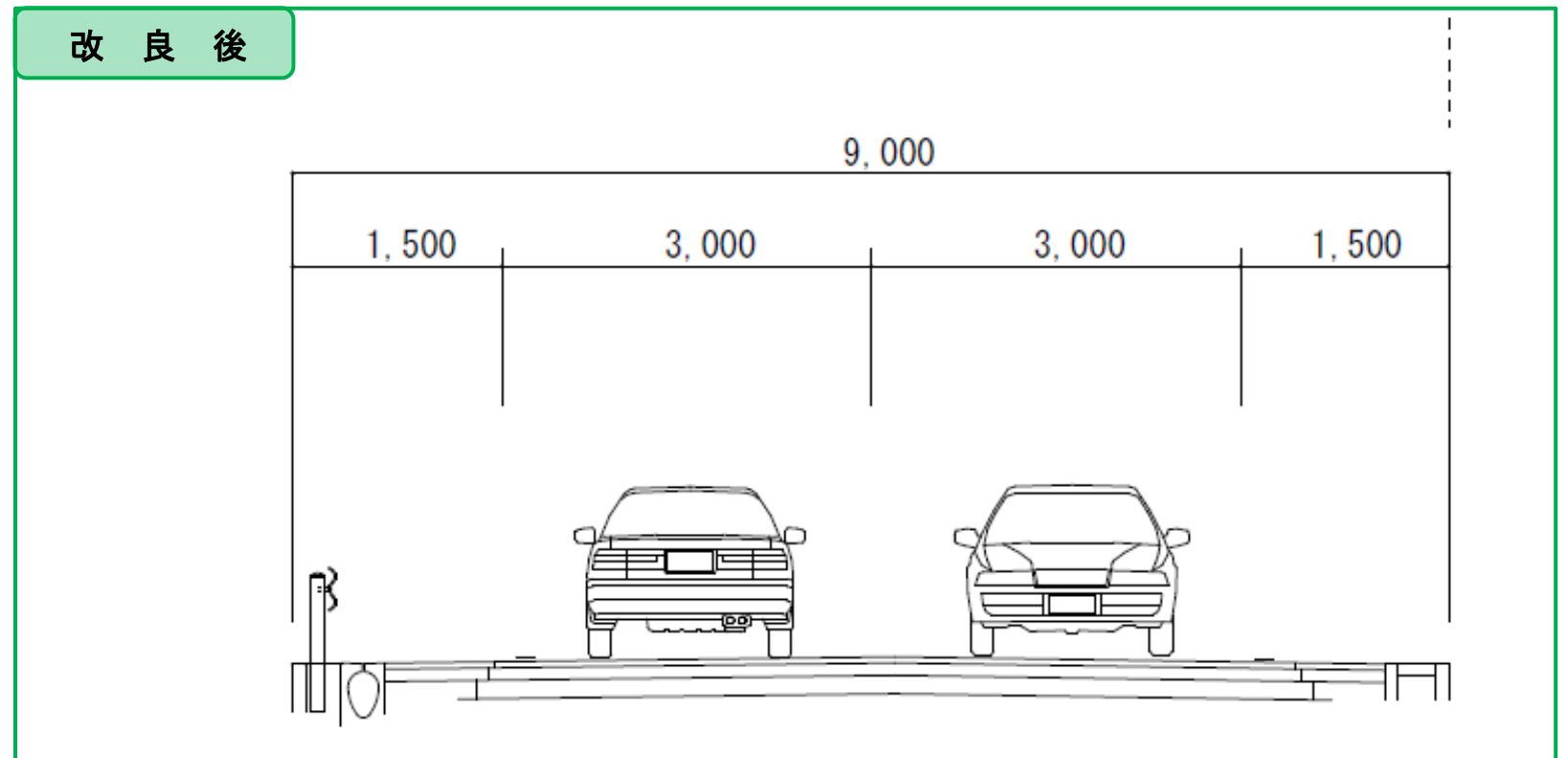
《工事概要》

- ・有効幅員を約4.7mから9mに改良し、
交差点部を9mから12mに拡幅

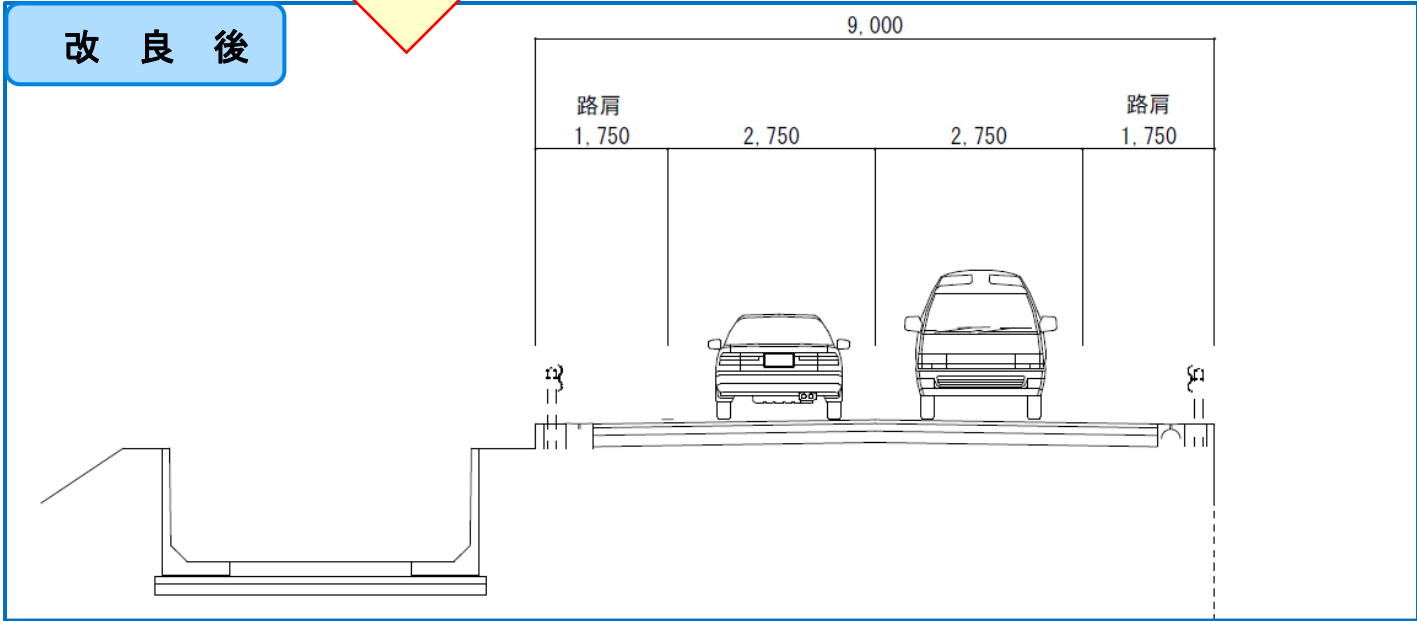
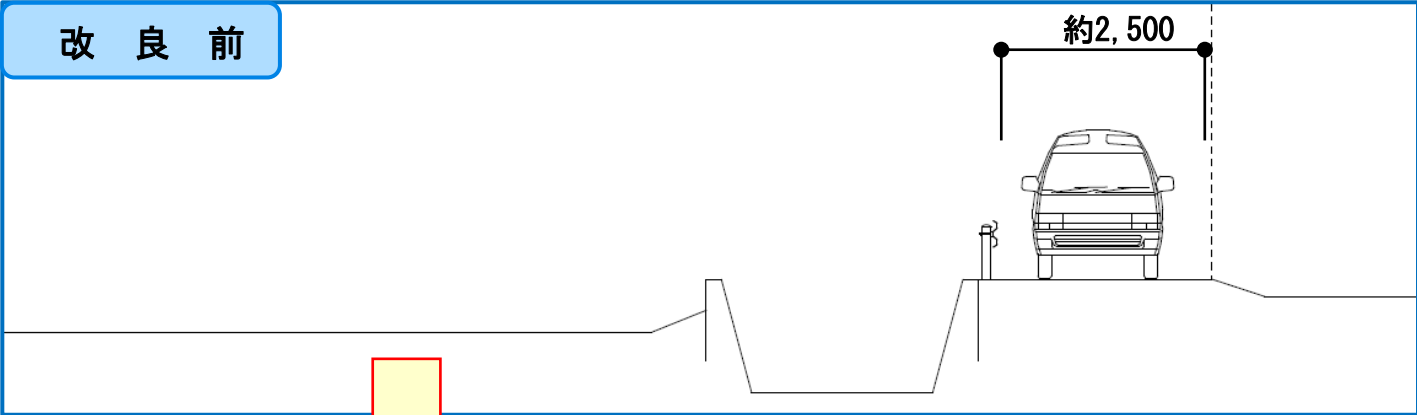
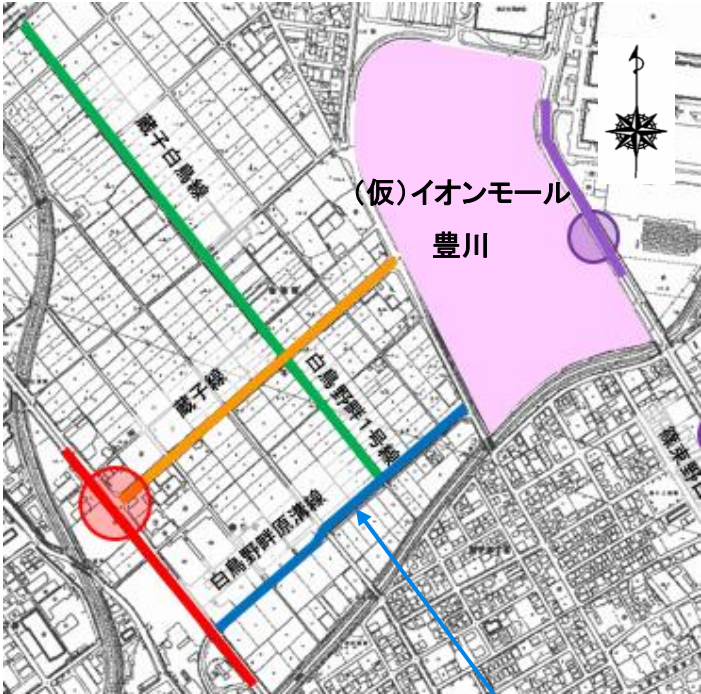
改良前



改良後



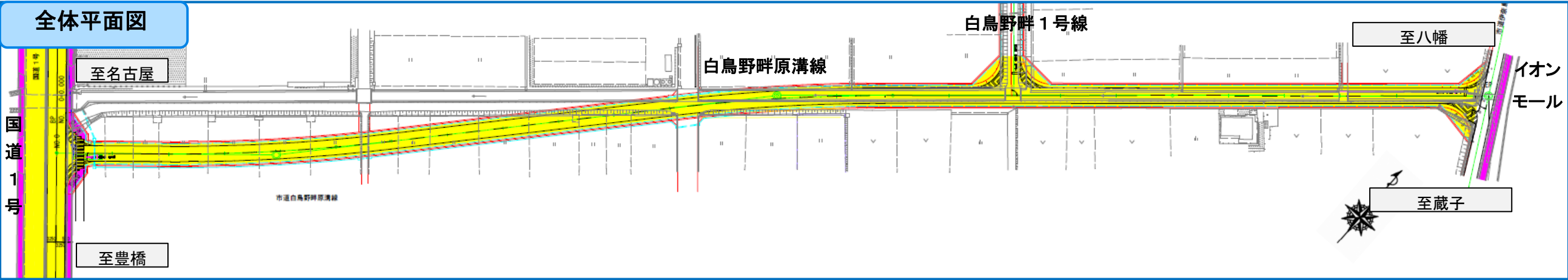
道路整備詳細(④ 白鳥野畔原溝線)



④ 白鳥野畔原溝線

《工事概要》

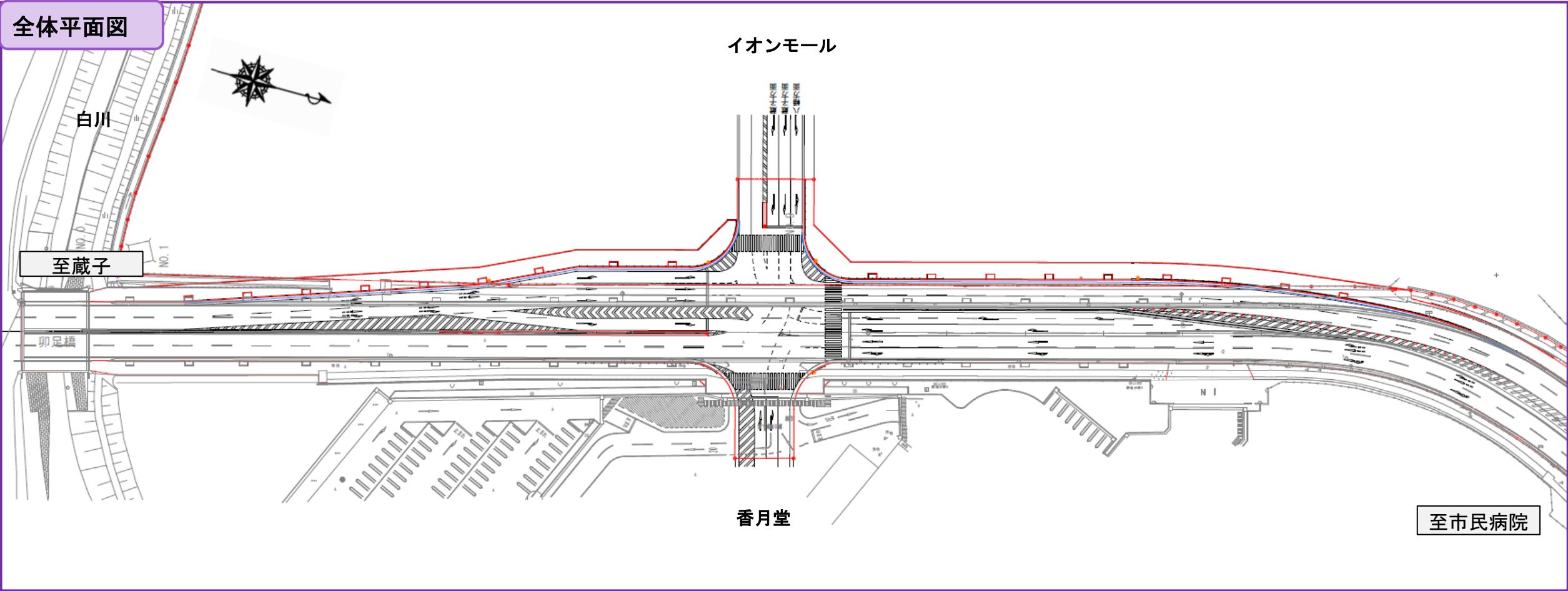
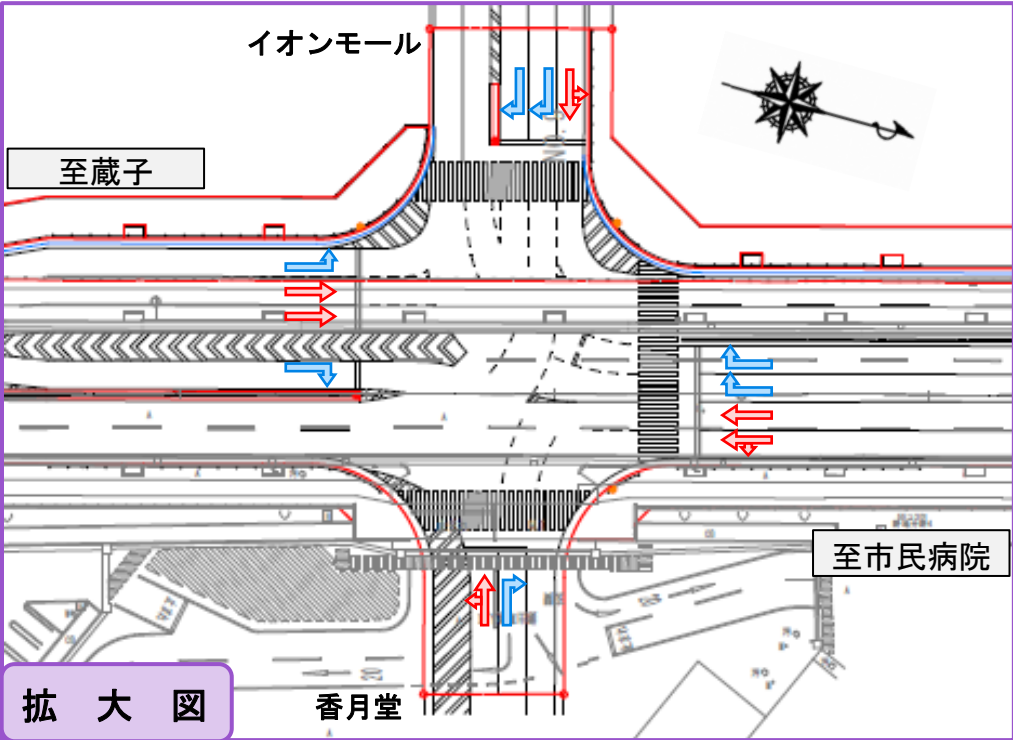
- ・ 現況幅員 約2.5mから9mに拡幅
- ・ 上下線とも幅員2.75mを確保
- ・ 路肩を広く確保し、道路両側に余裕のある構造とする。
- ・ 国道1号との接続部は改良を行い、白鳥野畔原溝線から豊橋方向へ左折アウト及び国道1号名古屋方向からの左折インのみとする。



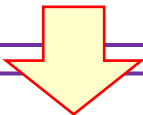
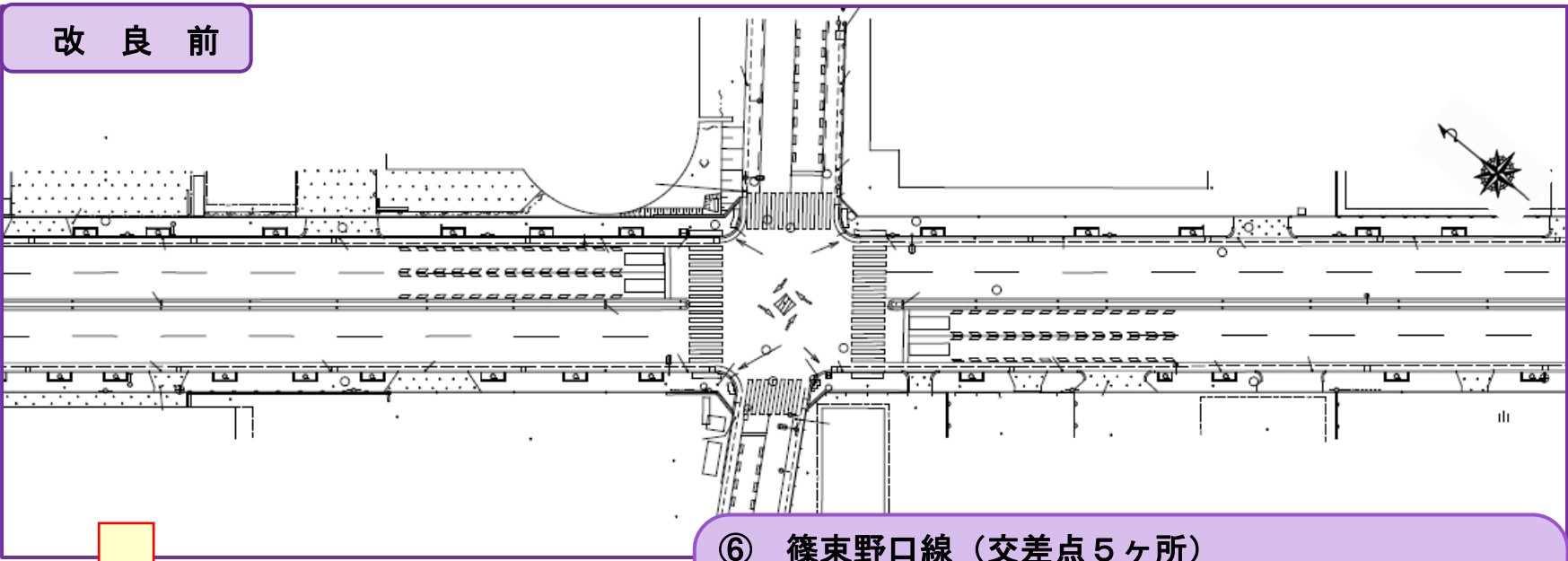
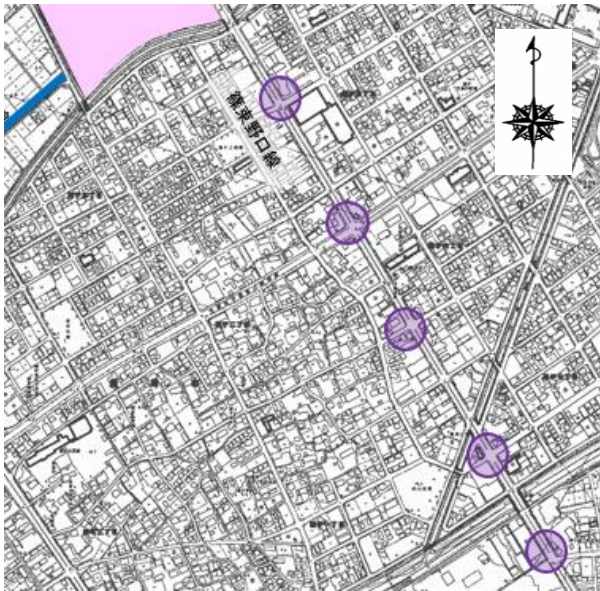
道路整備詳細(⑤ 篠束野口線・新設交差点)



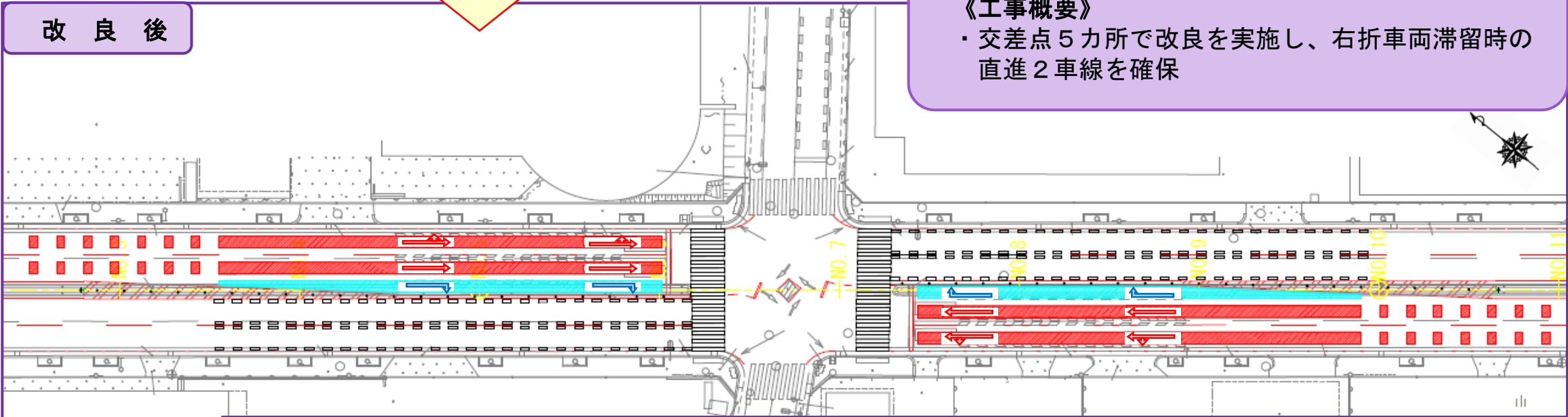
- ⑤ 篠束野口線（新設交差点）
- 《工事概要》
- ・新設信号交差点
 - ・蔵子方面から北進方向は、左折帯、右折帯＋直進2車線を確保
 - ・市民病院から南進方向は、右折帯2車線＋直進2車線を確保



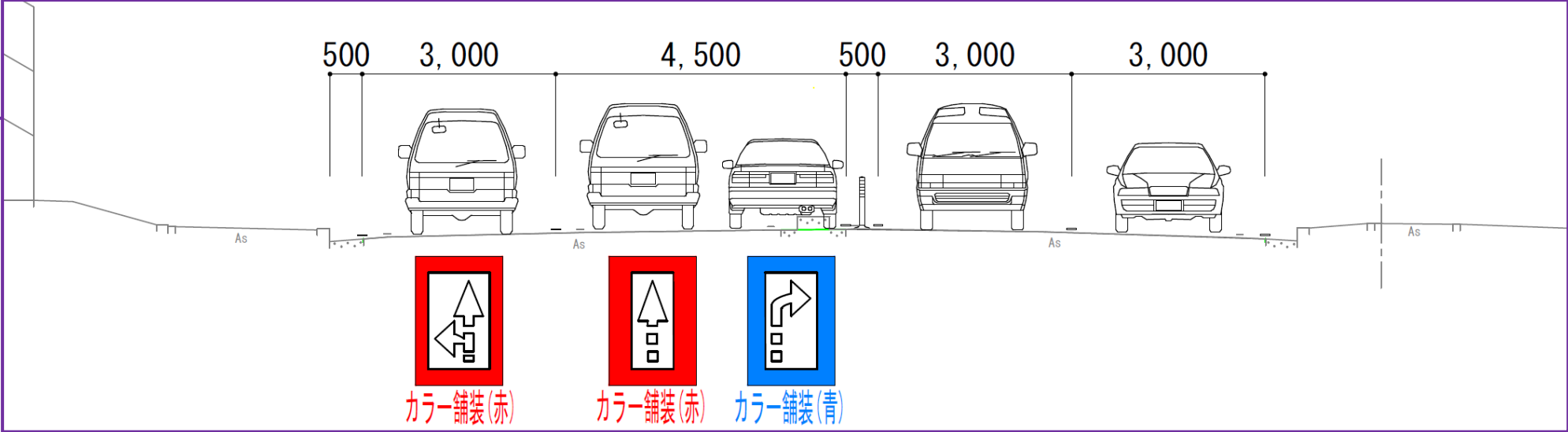
道路整備詳細(⑥ 篠束野口線・交差点5ヶ所)



改良後



⑥ 篠束野口線（交差点5ヶ所）
《工事概要》
・ 交差点5ヶ所で改良を実施し、右折車両滞留時の直進2車線を確保



その他(防犯、商業、路線バスなど)

《 防 犯 対 策 》

【防犯対策】

- ①店舗敷地内の防犯対策実施
- ②防犯啓発活動の実施
- ③地域と連携した防犯パトロールの実施

《生活道路への流入防止対策》

【注意喚起の看板設置】

イオンモール等への車両に対し、生活道路への流入を防止するための看板設置

《 その他交通安全対策 》

【カラー塗装等】

歩行者の安全対策として、路肩へのカラー塗装等の実施

《 商業活性化対策 》

【イオンモールとの共同事業】

イオンモールのスペースを利用した商店街PRイベント等の開催

【市内商業者への支援】

- ①市内商業者に対する新規補助制度の創設
- ②既存補助制度の継続

《 市民病院緊急車両対応 》

【緊急車両入口の増設】

市民病院への緊急車両の入口を市民病院敷地の北側、名鉄八幡駅南に緊急車両の入口を2箇所増設

《 路線バス 》

【豊鉄バス・コミュニティバス】

豊鉄バス、コミュニティバスのイオンモールへの乗り入れについては現在調整中

《 白川周辺整備 》

【散策路整備】

念仏橋から卯足橋にかけて白川堤防に散策路を整備

【人道橋整備】

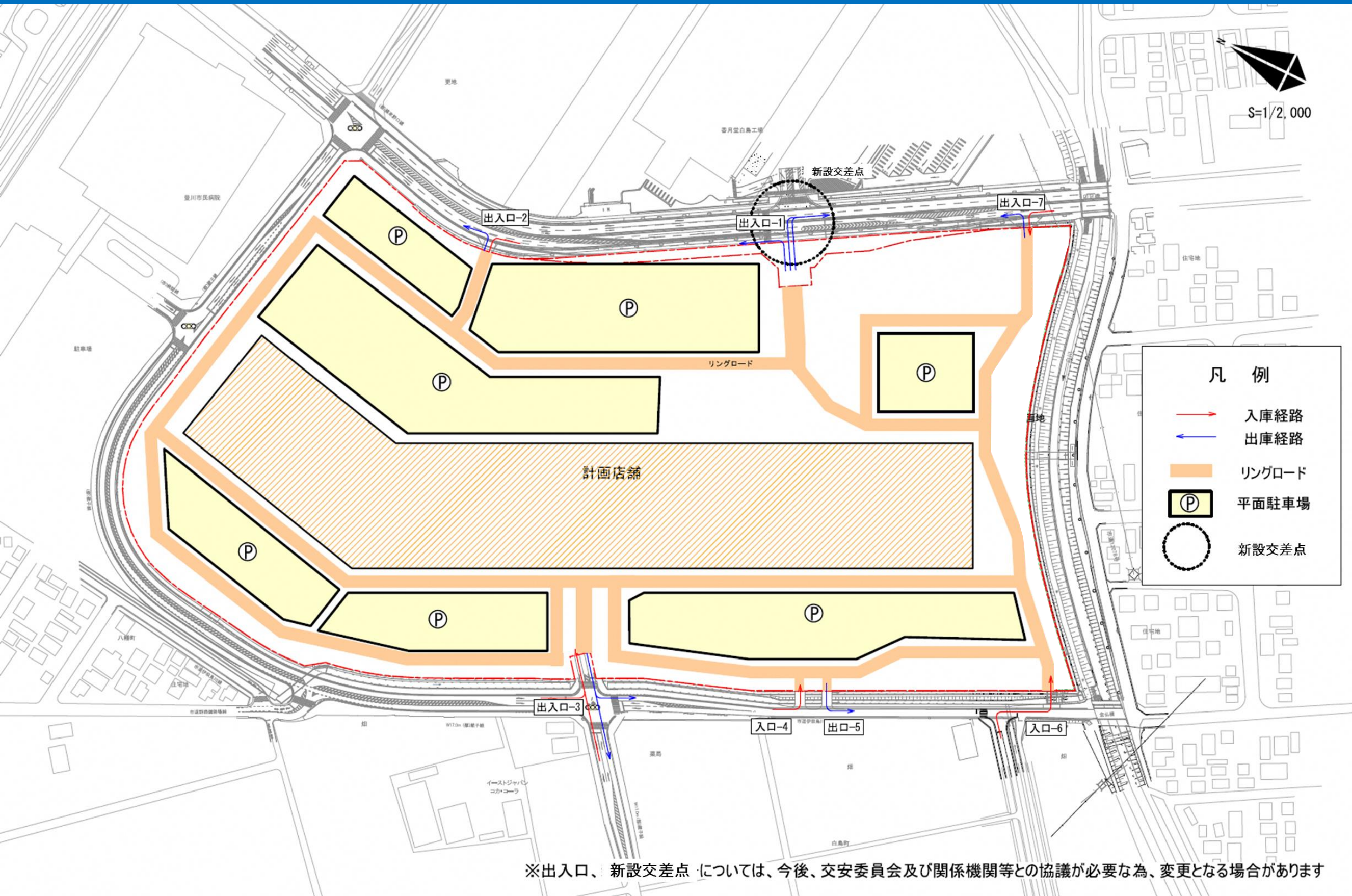
歩行者等の安全と利便性確保のため、白川に人道橋を整備

市民病院緊急
車両入口増設

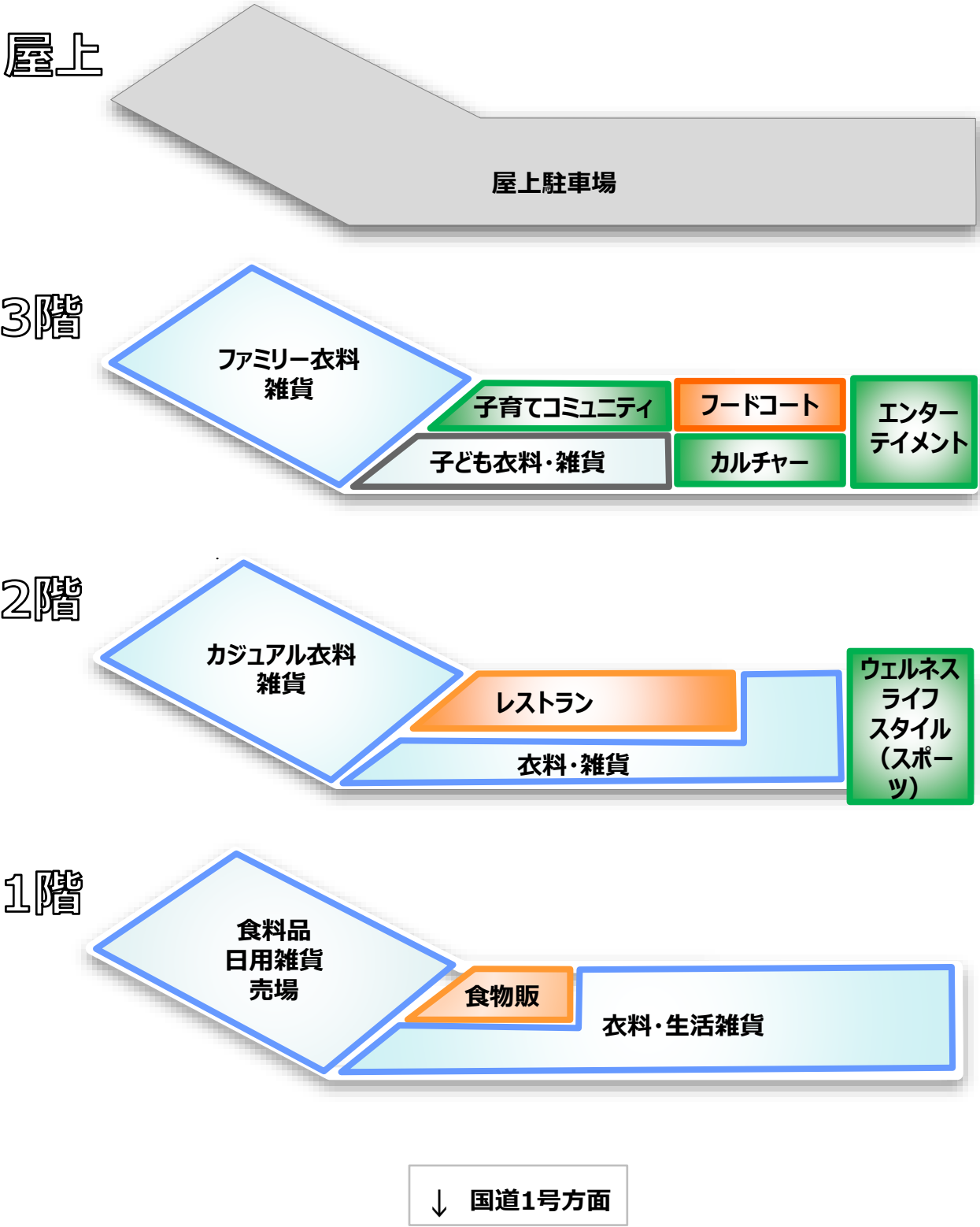
(仮)イオンモール
豊川

白川周辺整備

(仮)イオンモール豊川 計画図



(仮)イオンモール豊川 ゾーニングイメージ(案)



諸 元 表	
■ 延床面積合計	約 120,000 m ²
■ 売場面積合計	約 85,000 m ²
■ 階 層	地上3階
■ 駐車台数合計	約 3,800 台

※ゾーニングイメージや諸元表に記載されている建物規模、売場面積等については、現時点での構想のため、変更となる場合があります。

「人生の素敵な思い出をつくる場所へ」ハピネスモールの取り組み

・お客さまがご来店されるときはいつもワクワクして、かならず笑顔でお帰りになる。わたしたちが「ハピネスモール」として思い描いているのは、そんな商業施設の姿です。Eコマースも台頭する中で、イオンモールに足を運んでいただくたびに実体験として素敵な思い出を積み重ね、お客さま一人ひとりの心の中でモールを大切な場所にしていただきたいと思います。こうした願いを込めて、2017年度から本格的にハピネスモールの活動を開始しています。

日々の健康習慣に貢献し、健康的な身体づくりをサポートします。

暮らしを豊かにする文化・芸術体験を通して、癒しや感動を提供します。

Health

ココロとカラダを、
楽しく元気に



イオンモール

館内にウォーキングコースを設置しお買い物しながら運動を楽しんでいただけるイオンモールウォーキングを実施しています。

オペラ鑑賞会

オペラ振興会と連携、本物のオペラを間近で身軽に体験できる企画を開催しています。



Wellness

感動と癒しが、
広がる空間に

「街の保健室」



新感覚ヨガ「サップヨガ」体験イベント



全国各地でヨガ教室を開催。普段なかなか体験することができない「サップヨガ」などの体験イベントも積極的に実施しています。

イオンモールは ハピネスモールへ

「ヘルス」「ウェルネス」「コミュニティ」「オポチュニティ」という4つの柱を掲げすべての専門店、従業員が一体となって、お客さまがモールで過ごすあらゆる時間や体験にハピネスを感じていただけるよう、さらに総合的な取り組みへの進化を図っています。

『えんとつ町のプペル』光る絵本展



イオンモール落語



全館で地産地消を推進



石川県内のモールでは、健康と元気をテーマにしたキャンペーンを開催。各飲食店が地元産の小松トマトを使ったオリジナルメニューを開発し、地産地消を推進しました。

全国こども将棋王決定戦



「ハーバリウム」ワークショップ



目のひみつを知ろう ～見る育ワークショップ～



地域の笑顔が、
あふれる場に

Community



1,000人でラジオ体操しよう！！

地域のお客さま約1,300人が朝8時からモールの駐車場で一斉にラジオ体操を行いました。晴天のもとお子さまから年配の方まで、幅広い世代がふれあう機会となりました。（主催：いきいき健康さずなの会）

イオンモールカップ 高等学校「書道パフォーマンス」 グランプリ 中四国大会

書道を通じた新たな文化の創造や発展、芸術文化の地域間交流の促進などを目的に実施しています。第4回大会は、中四国9県から44の高等学校が参加し、書道のパフォーマンスを競いました。



豊かな暮らしのための
商品・サービス体験機会を

Opportunity

地域に欠かせない生活拠点として、人々が集い、つながる場となります。

ライフスタイルをより豊かにするための機会やヒントをご提案します。

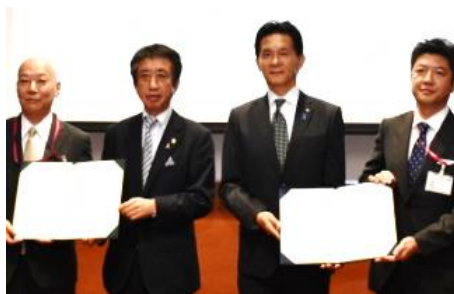
(仮)イオンモール豊川 概要

どんなときも安心・安全の評価をいただけるまちづくりを推進します。

地域と連携した防災・防犯体制の構築

- ・国内の8割以上のモールでは、あらかじめ防災活動への協力などに関する協定書を地方行政と締結し万一の際には地域の防災拠点として機能する体制を整えています。「イオンモールにいれば安全だ」と思っただけのよう、安全性の追求を続けます。

防災協定の締結



- ・イオンモールでは、防災活動への協力などに関する協定書を各地方行政と締結しています。《▼災害時の対応》
- ・イオンが生活物資を提供
- ・緊急避難場所として駐車場の開放 etc…

防災訓練



イオンモール高知（高知県高知市）

- ・多くのお客さまが館内に集まるイオンモールでは、地震や火災に備えて、専門店のスタッフも参加して避難誘導や消火活動などの防災訓練を定期的に行っています。

防災センターの常設



イオンモール岡山（岡山県岡山市）

- ・すべてのモールには防災センターを設置しており、24時間365日監視体制のADソリューションセンターとの連携で、突発的な事態に対しても即応が可能です。

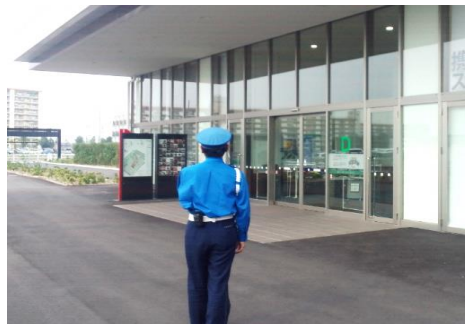
地域と密接に連携する防犯活動



イオンモール東浦（愛知県東浦町）

- ・地域の幼稚園児が警官となり、防犯の啓発物を配布したり、「安全なまちづくり条例（愛知県および東浦町）」に参画し、半田警察署、東浦町、地元自治会と防犯・防災を目的とした三位一体の活動を行い、その一環として防犯訓練を実施しています。

巡回パトロール



- ・すべてのモールでは警備員が常駐し、営業時間内のモール内外を定期的に巡回しています。
- ・人的な配置とともに、機械警備とバランスのとれた警備体制により、地域の安全の確保に努めています。

安心・安全なモールづくり（一例）

BCM

イオン株式会社は、2017年2月に、ショッピングセンターをプラットフォームに本社機能と店舗を含めた取り組みとして国内総合小売業で初めて、事業継続マネジメントシステム(BCMS)の国際規格「ISO 22301」認証を取得しました



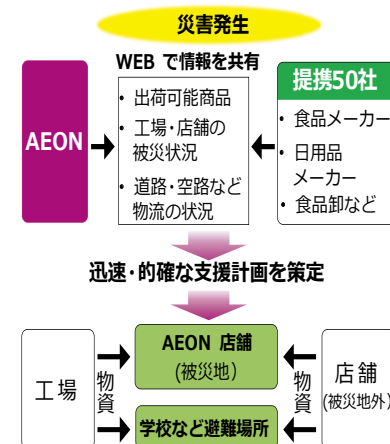
ISO 22301

- ・自然災害をはじめシステムトラブル・感染症の流行等、さまざまなリスクが現実となった場合に備え、対策を立案し対応するための事業継続マネジメントシステム(BCMS)の国際規格

- ・イオングループは、予てより巨大地震や津波を想定した大規模な防災訓練を継続して実施するなど、事業継続への取り組みを積極的に進めてまいりました。
- ・2016年3月より「イオングループBCM5カ年計画」を策定するとともに、グループ各社と外部パートナーが連携をし、災害対応や組織にとって重要な事業の継続能力を維持・改善させるための活動を推進する「イオンBCMプロジェクト」を組成し、様々な取り組みを着手してまいりました。
- ・この度の認証取得は、BCMに関わる活動が経営と密接に結びついた形で実施され、効果的・効率的に運用されるようにするための仕組みの整備・運用を目指し取り組んだものです。

メーカーなどと連携する災害支援システム

災害時に最も効率的な支援ができるようにする



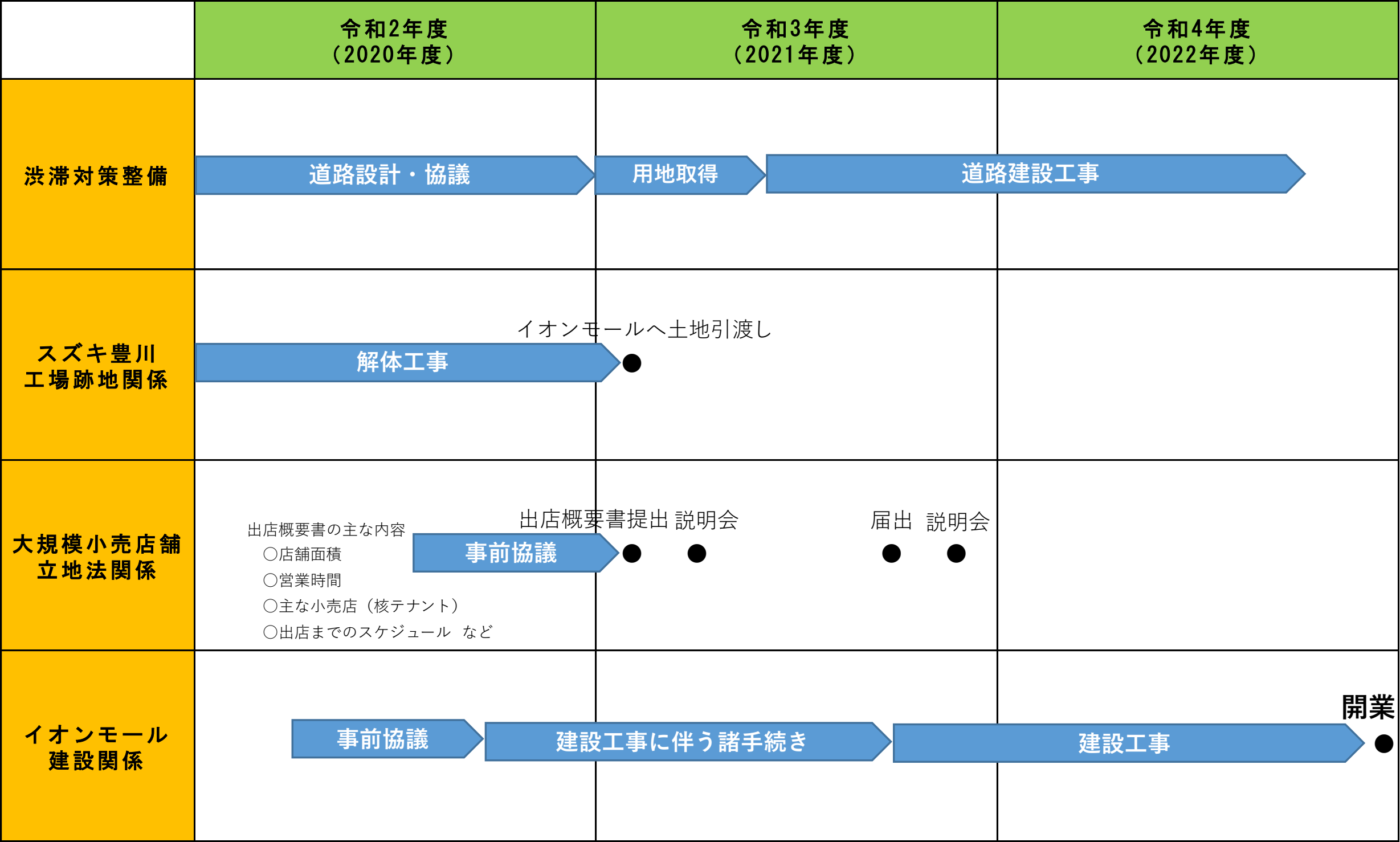
- ・イオングループでは食品、日用品メーカーなど約50社と連携し、災害時に情報共有し、活用する新緊急システムを立ち上げました。出荷できる在庫や物流体制といった情報を一元管理し、被災地に必要な物資を迅速かつ効率的に届ける計画を立てやすくするBCP（事業継続計画）の精度を高め災害に強い体制を整えています。

- ・新システム「BCPポータルサイト」は日用品メーカーのほか、食品卸や物流事業者などが参加し、羽田や成田、関西国際など全国の7空港とも連携します。

- ・被災地近くの工場や店舗、物流網、空港の稼働状況などと、グループで物流を手掛けるイオングループS C M（千葉市）の車両情報などとも組み合わせ、迅速で効率的な支援体制が構築できるようになります。

○安心して過ごして頂ける“毎日”をお届けするために、地域とともに密接に連携しながら、防災ならびに防犯の体制づくりに協力しています。

(仮)イオンモール豊川 開業までのスケジュール(案)



※このスケジュール（案）は、最短のスケジュールを示しているものであり、今後変更になる可能性があります。